

# 大阪城

2023

12/14 (木)  
14411号

全港湾  
西成分会

224  
6649-  
4949

街路の黄色い千の葉が落ちはじめている。週末は18度ほどで暖く、天気はいいからかいらっている。昨日で国会も終り、今年も2週間ほどになり、多分に政治に火がつき、政治の世界がめわたりしい。検察の追末もあり、代議士の数の力で、自民党内の権力を左右してきた。自民の安倍派に転機が訪れているようです。

政治の表づらや権力の移行や変化だけ、二が済むほど社会全体や世界の二の間の流動はあまりそうでもないのだけれど、当面は新しいと目うつりして、気分が軽くなっていくことだろうか。年加員、杖々かオセキの字が目に入ってきたり、ジングルベルの歌が耳に入ったりはするが、社会の方は、生活の苦しさや厳しさのせいか、浮かれた様子は無い。2024年、辰年、新年のたいへんさに気が重たくなるのかもしれません。

年末になって出てきた議員たちの世界についての火やけむりは、今後、日本社会で起ってくる。変化や混乱の足跡になるのかもしれません。今年一年の流れや、やってきたこととも思いうかべたり、次の辰年はどうなっていくかが、少し思いを沈めてみる時節にはなってきました。

# 今年の仕事もあと2週となりました。

## 忠臣蔵討ち入りの日

国会の会期が終わったので、検察特捜部が総がかりで自民党安倍派に対する政治資金の流れの解明のための捜査に入ります。うです。

強制捜査と言われ所属議員全員の事情聴取もあるのじゃないかともいわれているのでとつともないことがおきるのだろうか。

この報道が最初に伝えられた時には、政治資金規正法の不記載などで軽微な形式犯だから、「修正申告をすればすむ」とかいう解説者が多かったのですが、ことが進展してくるについで資金の金額が膨れ上がってきて5億をこえてくるとか、歴代事務総長の関与がみな報告を受けていたようだとかいうことになっているようです。派閥ぐるみの「裏金作りのシステム」だという観点から、検察側の「徹底解明への体制が組まれるようになっていっているようです。

派閥間戦争なり司法権力と政界の戦争ともいわれる今回の政治劇、年の瀬が迫ったこの時期に「安倍政治でおさまってきたゆがんだ体制がリセットされることになりそうである」と驚くようなことが続きそうです。